

ボーカル カリキュラム

	クラス	テーマ	内 容	課題曲・参考資料
	基礎	歌える喉・歌える身体を作る手法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 歌える身体の日常化 <ul style="list-style-type: none"> * 解剖学的見地から身体の作りを解説し、実践する * 腹式呼吸を身に付ける手法 * 呼吸と発声のタイミングのリンク * 息のコントロール 発声 <ul style="list-style-type: none"> * 母音の発声の仕方、舌の使い方、喉の使い方 * 子音の発音と舌の使い方 * ファルセットの発声 リズムトレーニング <ul style="list-style-type: none"> * Drの動きを取り入れたリズムトレーニング 英語詩の歌を使用して活舌トレーニング 	
	基礎	発声トレーニングの日常化と実際の歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 発声と歌を別で考える習慣を付ける 発声と並行して実践的な歌い方をトレーニング 少し難しい音程感を捉えるトレーニング 歌の全体像(細かい音程、発音ではなく)を捉えるトレーニング 譜面、歌詞の書き方の基礎 	
	中級	感情表現の手段としてのテクニックの習得	<ul style="list-style-type: none"> 発声では母音、子音のトレーニングを重点的に行う 歌唱では感情表現の手段としての母音、子音の処理を学ぶ 自分の想いを伝える為の音の処理 感情に流されない表現方法 	
	中級	音程感・コード感 リズム感の調和	<ul style="list-style-type: none"> 発声ではコード感を捕まえる為のトレーニングを集中的に行う (major minor triplets等) 歌唱ではコードの中で歌うということを重視する アカペラでの歌唱の指導 身体表現としての歌を一曲作り上げる 	
	上級	実践的なトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> 発声では喉を自由に使えるようになる為の指導 歌唱では歌の体力を付ける為の曲を使用し指導(一曲を歌い通す体力を付ける) 自分のKeyでの譜面の作成 <ul style="list-style-type: none"> * 自分の歌の構成、進行に合わせたものを作成 	
	上級	日本語の活舌と 日本語の感情表現	<ul style="list-style-type: none"> 日本語での感情の表現の仕方 メロディの処理方法 アーティキュレーションの付け方 子音、母音の処理方法 感情を出す為のスピードコントロール 	
	応用	テクニックと表現との調和	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月で英語の曲、日本語の曲を共に一曲仕上げる 発声、母音子音の処理、コード感、リズム感といったテクニ的な事と、曲の全体像を捉えるということを調和させる 自分で「この曲が歌いたい」という曲を選択し、指導を行う 	
	応用	自分の持ち曲を 一曲仕上げる	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の課題の洗い出し <ul style="list-style-type: none"> * 得手、不得手の洗い出しを行い、トレーニング方法の指導 * 自分の良い点を最大限に生かせる曲を選曲し、丹念に仕上げる * これまでの課題を全て一曲にまとめる 今後の方向性の決定 	

各クラスの学習期間は3ヶ月(10回レッスン)を基準としております。